



武蔵野の森公園 つばめ 撮影：法人事務局長 高木 真一



No.39 (令和元年)

社会福祉法人 鶴風会

東京小児療育病院
西多摩療育支援センター
後援会

連絡先

〒208-0011
東京都武蔵村山市学園4-10-1
電話 042-561-2521 (代表)
東京小児療育病院
Eメール tcrh@kakufuh.com

理念

私達は
障害児者の生命機能の維持
向上と生活援助のための誠実に
積極的に取り組み障害児者と
その家族を支援します

武蔵村山史

社会福祉法人鶴風会

理事長 松尾 賢二

| | |
|----|----------------------------------|
| 1頁 | 武蔵村山史 |
| 2頁 | 人生一〇〇年をどう生きる |
| 3頁 | 決算報告 |
| 4頁 | 東京小児だより |
| 5頁 | 西多摩だより・令和元年センター祭 NPO法人わらべより寄贈 |
| 6頁 | 法人表彰式・オルフェ案内 みどりまつり・バザー案内 |
| 7頁 | 健康科学部の看護教育へのご協力に感謝 寄贈品 |
| 8頁 | ご寄附者名簿 |

2分の1と僅かで、ほとんど期待出来ない状況です。さらに古くなった看護宿舎は老朽化がひどく、新規の看護師さんの募集にも影を落とし早急に新しい看護宿舎を建てなければならぬのが現状です。

今年5月1日より、元号が令和となりました。新しい時代の幕開けに、多くの人々が新たな希望を胸に抱いていることと思います。しかし国内経済においては戦後最長の景気拡大とも言われながら、その実感が家計に反映されていないこと、老後年金だけで生活が成り立たないこと、10月に消費税増税が控えていることなどより将来の不安が増しているのが実情であるといえます。

このような社会状況の中、東京小児療育病院の建物は毎年確実に老朽化しており7〜10年後には建て替えが必要となっておりますが、その資金が不十分で将来が危惧されています。

現在の社会状況は創設時と異なり、社会福祉事業に対する国や都の補助金は当時の

そのようなことから病院周辺に宿舎建築用地を探していたところ、東京小児療育病院のある武蔵村山市の歴史に興味を覚え調べてみました。武蔵村山市付近は、70万年前には浅い海であったようです。その証拠として、地下調査をすると様々な貝の化石が発見されています。氷河期に海面の低下により陸化して扇状地が出来、川の流れによって地形が変化し、武蔵野台地が形成されました。今の狭山丘陵は削り残された古い扇状地の名残です。その上に富士山の噴火による火山灰が何度も厚く降り積もりしっかりと陸地となったようです。狭山丘陵は水が豊富で自然に恵まれた環境が整っており、南斜面の暖かい土地から数万年前の旧石器時代の土器や石器が多数見つ

かっています。

また、縄文時代から奈良時代の住居跡も発掘されています。平安時代になり、武蔵七党という武士団のひとつである村山党が住み着いたことで村山という名前が生まれました。村山の名前のもとには狭山丘陵にたくさん山があり、それを群山（おれやま）と呼んでいたのが訛って伝えられ、村山になったそうです。

江戸時代に江戸が政治の中心になると、武蔵村山は幕府や旗本に支配されていきました。水田がなく年貢をお米で納めることが出来ず、主な農産物である粟、ひえ、麦を売りお金で納めていました。副業としてお金を得るために

男性は炭を売り、女性は蚕を飼って織物を売りお金を得ていました。立川市、小平市、国分寺市は村山の人により開発されていきました。明治26年に神奈川県から東京府（現在の東京都）に属する事となりました。大正時代には都民の飲み水である村山貯水池が整備され、電灯がつき、立川からバスも開通しました。昔から行われていた機織りが盛んになり、「村山大島紬」が伝統工芸として栄えました。第二次世界大戦前より東京陸軍少年飛行兵学校、多摩飛行場（現在の横田基地）、東部78

部隊（現在の国立病院機構村山医療センター）などの多くの軍事施設が作られました。終戦後、村山は産業、経済、文化の目覚ましい発展をとげ、昭和29年に村山町になりました。昭和45年には、村山市になる予定でしたが、山形県にすでに村山市があった為に、関東平野南西部の内陸地に分布する武蔵野台地に位置することから武蔵村山市となったようです。そして現在は、農業と織物の町から東京のベッドタウンとしてさらに発展しています。

当施設もこの地域に根を下ろしさらに発展させ、何世紀か後に、土器や化石のように当施設が発掘されたとしても、武蔵村山の長い歴史の中で、社会福祉に貢献した爪痕を残した施設と語り継がれているように頑張つて参ります。皆様方には新元号になつても、鶴風会に引き続き温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人生一〇〇年を

どう生きる

社会福祉法人鶴風会後援会

会長 青木 継稔

人生一〇〇年の時代と言われるようになりまし。女性の平均寿命は87・

32歳、男性は81・25歳と年々少しずつ上昇し、我国は世界2位あるいは3位の長寿国です。100歳を越える人は十数年前は男女合わせて何千人でしたが、今では10万人に近づいています。10年前は、100歳を迎えると市町村では祝い金として、10万円が支給され、市長さんから表彰されていましたが、最近100歳になる人が急速に増加したため、祝い金は、10万円から5万円、3万円、1万円と減額され今では一寸した記念品程度になったところも多いようです。

◆平均寿命、平均余命と健康寿命

平均寿命が年々徐々に延びて来ると、各年齢の平均余命も延びて来ます。例えば80歳の平均余命は87歳程度と計算されています。それに健康寿命と言つものもあります。「健康寿命」は、足腰もある程度しっかりして歩いて歩行も十分可能であり、日常生活も普通に出て来、仕事も大丈夫という健康体である状態を指します。寝たきりや介護のお世話になつてはいない、自分のことは自分でできる状態ではないでしょうか。健康寿命は、平均寿命より7〜8年若い年齢のようです。

80歳、90歳となつても健康体であり、仕事ができたり、家庭内の雑事（食事、掃除、洗濯など）、買物、散

歩、趣味の世界、旅行などできると楽しい事も多いですね。可能な限り仕事も続けたいものです。

◆社会が年齢を感じさせる

「生涯現役」と思っていますが、自分は健康体であると自信があつても、社会の規則や習慣があり、ある年齢になると仕事を辞職することになってしまひ、がっかりしたり、仕方ないと諦めざるを得ないことがあります。

最初は、60歳あるいは65歳定年制です。ここで「あゝ、もう定年か」と齡を感じさせられます。次に、健康保険証の切り換えです。社会保険等から国民保険、75歳を越えると全員が後期高齢者保険となります。とくに、75歳になり後期高齢者保険証が送付されてきた時は、かなりショックを受けてしまいます。

また、年金の手続は自分でしなければなりません。現役の時は今全気にもしていませんが、定年とか定収入がなくなれば65歳を過ぎれば年金の申請をします。いよいよ、年金生活者になつたのかと落胆します。

私は医師・医学研究者・医学教育者として、文科省、厚生省、通産省、東京都などの各委員会委員などをしていましたが、ほとんどが70歳にてお役御

免になりました。「余人をもつて代え難し」という辞令にて、75歳までは委嘱された委員を務めたことはありません。色々な役職等も例外なく80歳までが限度と思われまます。雇われ社長、理事長、会長、理事、総長、院長も適当な時期（70、75、80歳）までに退任となります。誰も止めさせられず、ズルズルと居続ける人がいて「誰が猫に鈴をつけるか」と嫌がられても居続ける人も例外的にはいますが、稀なことでしょう。

◆生涯現役を続けるために！

「生涯現役」を続けたいと思うのは夢の一つです。創立者、オーナーなど、自分で設立した場合は生涯現役でいられるでしょう。何か専門職を持つていれば公的機関の職には就けないですが、私的機関、パートなどを続けることは可能なことがあります。私自身は医師免許がありますので、友人の病院やクリニックのパート医師、地域の教育委員会の委員や発達障害支援等にてほぼ毎日何らかの仕事をしている幸せを感じています。有難いことと感謝しています。生涯現役ができる社会にしましょう。

◆健康体を維持するためにすること

「1読（本を読む）、10操（10分体操、100吸（100回深呼吸）、100字（1日に1000字書く）、万歩（1日1万歩）」（NHK故鈴木文弥アナウンサーに教えて貰った）の実践に努めましょう。東京大学の鎌田真光氏（JAMA Intern Med.2019）にこれは長生きするには1日1万歩は重要なこと。

操、100吸（100回深呼吸）、100字（1日に1000字書く）、万歩（1日1万歩）」（NHK故鈴木文弥アナウンサーに教えて貰った）の実践に努めましょう。東京大学の鎌田真光氏（JAMA Intern Med.2019）にこれは長生きするには1日1万歩は重要なこと。

決算報告

社会福祉法人鶴風会では、経営実態や経営の透明性確保を
するために、社会福祉法に基づき情報を公開しております。

社会福祉法人 鶴風会 平成30年度 事業活動計算書

| 勘定科目 | 当年度決算(A) | 前年度決算(B) | 増減(A)-(B) |
|-------------|---------------|---------------|-------------|
| サービス活動増減の部 | | | |
| サービス活動収益計 | 4,342,480,424 | 4,266,074,591 | 76,405,833 |
| サービス活動費用計 | 4,263,468,789 | 4,148,556,056 | 114,912,733 |
| サービス活動増減差額 | 79,011,635 | 117,518,535 | -38,506,900 |
| サービス活動外増減の部 | | | |
| サービス活動外収益計 | 34,365,234 | 32,298,617 | 2,066,617 |
| サービス活動外費用計 | 5,446,722 | 6,086,247 | -639,525 |
| サービス活動外増減差額 | 28,918,512 | 26,212,370 | 2,706,142 |
| 経常増減差額 | 107,930,147 | 143,730,905 | -35,800,758 |
| 特別増減の部 | | | |
| 特別収益計 | 22,561,978 | 26,161,894 | -3,599,916 |
| 特別費用計 | 27,747,862 | 25,766,420 | 1,981,442 |
| 特別増減差額 | -5,185,884 | 395,474 | -5,581,358 |
| 当期活動増減差額 | 102,744,263 | 144,126,379 | -41,382,116 |
| 繰越活動増減差額の部 | | | |
| 前期繰越活動増減差額 | 1,247,119,502 | 1,202,993,123 | 44,126,379 |
| 当期末繰越活動増減差額 | 1,349,863,765 | 1,347,119,502 | 2,744,263 |
| 基本金取崩額 | 0 | 0 | 0 |
| その他の積立金取崩額 | 100,000,000 | 0 | 100,000,000 |
| その他の積立金積立額 | 70,000,000 | 100,000,000 | -30,000,000 |
| 次期繰越活動増減差額 | 1,379,863,765 | 1,247,119,502 | 132,744,263 |

社会福祉法人 鶴風会 平成30年度 資金収支計算書

| 勘定科目 | 予算(A) | 決算(B) | 差異(A)-(B) |
|--------------|---------------|---------------|--------------|
| 事業活動による収支 | | | |
| 事業活動収入計 | 4,316,809,000 | 4,376,845,658 | -60,036,658 |
| 事業活動支出計 | 4,056,188,000 | 4,022,900,414 | 33,287,586 |
| 事業活動資金収支差額 | 260,621,000 | 353,945,244 | -93,324,244 |
| 施設整備等による収支 | | | |
| 施設整備等収入計 | 16,981,000 | 19,693,932 | -2,712,932 |
| 施設整備等支出計 | 250,354,000 | 249,540,015 | 813,985 |
| 施設整備等資金収支差額 | -233,373,000 | -229,846,083 | -3,526,917 |
| その他の活動による収支 | | | |
| その他の活動収入計 | 143,135,000 | 146,934,046 | -3,799,046 |
| その他の活動支出計 | 135,877,000 | 139,118,026 | -3,241,026 |
| その他の活動資金収支差額 | 7,258,000 | 7,816,020 | -558,020 |
| 予備費支出 | 12,000,000 | 0 | 12,000,000 |
| 当期資金収支差額合計 | 22,506,000 | 131,915,181 | -109,409,181 |
| 前期末支払資金残高 | 1,323,808,000 | 1,323,809,030 | -1,030 |
| 当期末支払資金残高 | 1,346,314,000 | 1,455,724,211 | -109,410,211 |

社会福祉法人 鶴風会 平成30年度 貸借対照表

| 資産の部 | | | |
|--------------|---------------|---------------|--------------|
| | 当年度末 | 前年度末 | 増減 |
| 流動資産 | 1,754,437,089 | 1,659,316,908 | 95,120,181 |
| 固定資産 | 4,675,180,534 | 4,622,591,313 | 52,589,221 |
| 基本財産 | 2,767,967,299 | 2,874,789,262 | -106,821,963 |
| その他の固定資産 | 1,907,213,235 | 1,747,802,051 | 159,411,184 |
| 資産の部合計 | 6,429,617,623 | 6,281,908,221 | 147,709,402 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 528,515,279 | 550,289,011 | -21,773,732 |
| 固定負債 | 1,417,514,804 | 1,321,598,968 | 95,915,836 |
| 負債の部合計 | 1,946,030,083 | 1,871,887,979 | 74,142,104 |
| 純資産の部 | | | |
| 基本金 | 1,705,794,456 | 1,705,794,456 | 0 |
| 国庫補助金等特別積立金 | 840,920,775 | 870,097,740 | -29,176,965 |
| その他の積立金 | 557,008,544 | 587,008,544 | -30,000,000 |
| 次期繰越活動増減差額 | 1,379,863,765 | 1,247,119,502 | 132,744,263 |
| (うち当期活動増減差額) | 102,744,263 | 144,126,379 | -41,382,116 |
| 純資産の部合計 | 4,483,587,540 | 4,410,020,242 | 73,567,298 |
| 負債及び純資産の部合計 | 6,429,617,623 | 6,281,908,221 | 147,709,402 |

東京小児療育病院だより

東京小児療育病院

院長 椎木 俊秀

平成が終わりと令和の時代が始まりました。私たちも気持ち新たに、今年度の事業に取り組みで行きたいと思えます。まず長期入所者、通所利用者の日中活動の量と質の向上を図りたいと思えます。今までは計画を練ってきましたが、今年度は本格的に実践する年にしたいと思えます。そのために新たに活動専門員（看護師1名、生活支援員1名）を配置し、活動のかなり広い専門スペースを整備しました。

次に収益増、支出削減を図り大幅な収支増を目指したいと考えています。これは今後予定されている施設の建て替えのためにも病院の安定経営のためにも不可欠の課題です。そのためには高い病床稼働率を維持し、リハ実施枠の拡大、定期検査の見直しと確実な実施、医薬品のジエネリック化の推進、LED化推進などを確実に進めなければなりません。

さらにますます医療度が高くなる方々のケアの充実と大幅な増収を目指して看護師を大幅に増やし、10:1看護から7:1看護を本格的に目指す年にしたいと思えます。その対策の一つとしてホームページの全面リニューアルの計画が進んでいます。院長めいわいでは障害者についての私

の考えも述べたいと思っています。以下に一部を掲載します。詳しくは9月頃にリニューアル予定のホームページをご覧ください。

【全面リニューアル院長めいわいより】

障害者とは障害を「持っている」人ではなく、障害が「ある」人だと思えます。「持っている」と考えれば純粋にご本人の問題ですが、「ある」と考えればご本人と社会の双方の原因を考えることとなります。現代の障害者論は、主に社会の側にその責任があると考えます。社会の側が障害者が暮らしにくい壁を作っているのです。私たちはそういう立場で障害者を捉えたいと思えます。

そういう立場に立てば、支援者や社会の側こそが壁を取り除き、ご本人の能力が十分に発揮され、学習が促進されるように最大限の努力と工夫を強めなければなりません。そのためには誰も思いつかないような難しいことをするべし、誰もが生きているあたりまえの生活ができるように、やるべきあたりまえの支援を誠実に粘り強くやり続けることだと思えます。しかし、その「あたりまえ」を実行することに非常に多くの困難を伴います。私たちは障害者支援の使命を自覚し、高度な専門性を生かして、「あたりまえ」の実現に努力していきたいと思えます。障害による能力の低下を生きる価値と結びつける考えも根深いものがあります。しかし、本当に障害のある人は能力が低

いのでしょうか。

実際にはさまざまな能力を発揮される方も少なくありません。意思疎通が困難だったり、ほとんど反応がないように見える方でも、その方をお世話する中で、家族や支援者が生きがいや働きがいを感じ、癒され、励まされ、学ばされる場合もたくさんあります。そういう意味では大きな能力を持っている方々だと言えます。物の生産というより心の生産にだけ私たちと言っているのではないのでしょうか。

障害者が暮らしやすくなるためには、すべての人の個人の尊厳と多様性が保障され、すべての人が幸せに暮らせる社会になることが求められます。しかし、すべての人が幸せに生きることが願うことは実現できない理想に過ぎない、あるいは偽善だとも思っています。しかし、誰も一人では生きていけない現実を直視すれば考えは少し変わるかもしれません。

私たちは衣食住、移動、教育、娯楽、文化をはじめ生活上のほとんどすべてのことについて、自分一人ではできないことは何一つありません。それらはすべて外国の人も含め会ったこともない無数の人の力に依存しています。彼らが不幸になれば、自分の生活にも悪影響が及ぶ可能性もあります。そして彼らもまた無数の人の力に依存して生活しています。誰も生きていくためには、多くの人の手助けが必要という点では何ら障害者の人と変わらないうです。現代は複雑に絡み合ったネットワー

クが世界中の人をつなぎ、すべての人が生活のほとんどすべてを他者に依存して生きる時代なのです。お金は様々な財やサービスがあつて初めて役に立つものです。すべての人が互いに支え合つて生きていく現実を素直に見る必要があります。

利己と利他は表面的に対立することがあつても、根底においてはしっかりと結びつき表裏一体の関係です。だからこそ私たちは人の役に立つと喜びを感じる必要があるのではないのでしょうか。すべての人の幸せを願うことはすべての人を好きになることではなく、幸福になるための権利を平等に認め合つことだと思えます。すべての人の幸せを願うことは究極の理想であつても、長い年月をかけて限りなく近づいていける目標であり、決して偽善ではないと思えます。むしろ私たちの心の奥に潜んでいる本心のようにも思えます。

障害者の存在は、利益や生産性、効率性に偏重しがちな現代において、生きるとは何か、幸せとは何か、価値とは何かを私たちに問いかけ続け、多くの人を励まし、勇気づけ、行動に駆り立てています。障害者が住みやすい社会こそ、すべての人が住みやすい社会です。障害者の存在は、私たちが個人の尊厳と多様性の尊重を促進、実現していく上で大きな役割を果たすのではないのでしょうか。私たちは障害者支援をおおして、そのような社会の実現にもささやかな貢献ができればと願っています。

西多摩だより

西多摩療育支援センター

センター長 鶴岡 広

東京五輪パラリンピックのチケット受付も始まり、2020年の開催に向けて、段々と一般者アスリートばかりでなく、障がい者アスリートへの関心が高まっている。

障がい者アスリートを考えるとき、私が若く大学病院で務めていた頃の担当だった、患者一氏の車椅子を思い起す。一氏は、バイクの事故により緊急入院となった。背骨に骨折があり緊急手術となったが、下半身は完全な麻痺となった。身体状況が安定し、大学病院を退院、そしてリハビリ病院に転院。その後、身体強化の目的で車椅子によるスポーツを始めた。そして、1998年のソウルパラリンピックに参加、陸上で銀メダル獲った。私は、その車椅子を見せてもらい、特殊な形状に驚愕した。それは、まるで自動車のF1の様だった。前輪は後輪のはるか前方にシャフトでつながり操舵することができた。座面は、まさにエンジンとなる乗り手をコンパクトに固定するようにつ作られていた。今では、しばしばテレビのマラソン放送で見ることが出来るが、当時いわゆる一般的な普通型の車椅子しか知らない私には、斬新な構造だったことを覚えている。

今、障がい児者に対するリハビリ医師として、私は、義肢・装具や車椅子の製作処方を行なっている。それらは、いわゆる普段の生活を送るために必要な道具。立つ、歩く、

家の中を動く、通学・通勤などを目的とする処方内容だ。走る、跳ぐ、泳ぐなどを行うスポーツには適さない。軽自動車やサーキットレースを、F1自動車が一般生活道走るのに適さないと同じだ。

今日の医療・福祉の制度において、いわゆる普段の生活を送るための機器費用について、障がい児者への補助は定程度ある。しかし、スポーツを行うための機器費用に、個人に対する公的補助は、ほとんど無い。私はそれで良し、と思う。だが、それらの機器は大変高価であり、障がい児者のスポーツへの参加は、間違いなくハードルが高い。

スポーツは、人の心身育成に必要なものつだ。特に子ども、ましてや障がいを持つ子どもにとって、体と心を動かすためにスポーツを行うことは、重要な。障がい児者が、気軽にスポーツへ参加できる何らかの仕組みを、私は望む。

令和元年センター祭

生活支援部長 柳瀬 達夫

いつも鶴風会が運営するそれぞれの事業に対して、温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。西多摩療育支援センターでは、例年6月に地域の皆さまへ施設を開放して「センター祭」を行っております。令和となった今年は、これまで日曜日に開催していた「センター祭」を6月3日の土曜日に開くこととしました。土曜日に開催を変更した理由は、最近地域で増えてきた障

害児者のデイサービスなどの中には土曜日の支援を行っているところも多く、みなさんで参加することも可能なことなどを考えたからです。

さらに、今年のセンター祭では例年と違うところとして、会場の使い方の工夫がありました。昨年度から、障害者支援施設の事業として、新しい通所事業「楽（ら）のり」が立ち上がり、順調に利用者も増えました。そのため、センター内のスペースにも限りがあったので、センターの北側となる駐車場にテントをたてて、地域の福祉施設のお店や模擬店などが広く集まるように交流の場としてレイアウトしました。

その交流の場では、地域の14もの施設や作業所などが、自主製成品や委託品の販売を行いました。さらに、地域のカラー屋さんや焼き鳥屋さん、コーヒーストップなども出店し、とても多くの方がお買い物をされて楽しんでいました。地域の施設やお店がこつとして堂に集まる機会は、行政主導のものはいくつかありますが、私たちのような立場で企画し、長年の実績から定着しているものは、とても貴重な機会だと考えています。

その他にも、盛りだくさんの出し物やキッズアートプロジェクトなどの遊びのコーナーを企画し、開放的な雰囲気でも多くの方に立ち寄っていただきました。キッズアートプロジェクトは、アートの作成を通じて、病気が障がいをかかえた方たちが生活を楽しく、お互いに元気を与え、アートを描くというプロジェクトで、とても有意義なものでした。

当日は、多くの支援者やボランティアさんに支えられ、地域の皆さんも楽しめる企画を行うことができました。本当にありがとうございました。

NPO法人わらべより寄贈

西多摩療育支援センター

事務長 石井 昌之

あきる野市と武蔵村山市で活動してきたNPO法人わらべが、このたび平成30年10月をもって解散しました。

わらべは、平成29年10月に法人が発足し、平成30年2月まで10年間、主に鶴風会の施設内（東京小児・西多摩）にて活動してきました。これまで鶴風会とは、売店委託や洗濯委託、清掃委託など業務委託契約先として、多岐にわたり法人運営に貢献して頂きました。令和元年6月にNPO法人わらべ・濱中理事長より解散した際の残余財産を寄贈する申し入れがあり、「金二千六百八十万円」及び備品「作業台付冷蔵庫×1台」を鶴風会が頂けることになりました。法人を代表して、松尾理事長が目録を受け取りました。

改めて、これまでにNPO法人わらべに関わりのあったご利用者やご家族、職員など多くの方々に感謝申し上げます。なお、頂戴しました寄贈品は、今後の法人運営に大切に活用してまいります。



令和元年度 鶴風会表彰式 法人事務局

去る令和元年八月二十日（木）に、今年度の法人表彰式を執り行
いました。受賞者の方々には、日頃のご尽力に感謝いたしますと
ともに、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

施設貢献表彰

元職 員 山田耕一郎

永年勤続表彰

勤続四十年

心 理 染谷 昌美

勤続三十五年

理学療法士 渡邊 裕一

勤続二十年

生活支援員 三瓶 則代

生活支援員 木村 佳子

作業療法士 小泉たみか

生活支援員 中村 光一

理学療法士 齋藤 直美

勤続二十五年

事務 岩井 秀彦

生活支援員 若月 育志

勤続二十年

ソーシャルワーカー 大川 貴子

看護 望月 典子

生活支援員 花岡美和子

理学療法士 角田 和司

勤続十五年

医 師 松田 光展

歯科衛生士 吉原 圭子

看護 森藤るみ子

生活支援員 久保秋桃子

看護 竹家 直子

看護 山村 智子

作業療法士 青柳 政則

作業療法士 齋藤 綾子

作業療法士 武藤 由佳

准看護師 恩田多美子

生活支援員 山平 政昭

生活支援員 鈴木 徹

ソーシャルワーカー 西村 祐子

理学療法士 内田 七実

理学療法士 野村 ルナ

勤続十年

看護 野島 哲也

看護 三浦 秀子

看護 馬場 ルミ

看護 角田美智子

看護 前畑 貴子

看護 山崎 将輝

作業療法士 三田 祐季

作業療法士 関矢 幸子

生活支援員 酒井 淳一

生活支援員 鈴木 健治

生活支援員 成瀬みずな

生活支援員 小椋 文子

生活支援員 佐藤 雅美

作業療法士 辰野 雅彦

生活支援員 福地 愛美

理学療法士 重森 健介

社会福祉法人 鶴風会

チャリティコンサート～オルフェの会～

当法人後援会主催の歳末チャリティコンサート「オルフェの会」を今年も開催することとなりました。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。会費の一部は社会福祉法人鶴風会の発展に寄与させていただきます。ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

日時 令和元年12月1日(日) 12時開演
場所 新高輪プリンスホテル 国際館パミール
会費 2万円(予定)
内容 ♪磯絵理子と仲間たちによるアーリークリスマスコンサート♪
ヴァイオリン：磯絵理子 チェロ：高橋純子 ピアノ：武藤敏樹
どうぞご期待ください。

申込み 社会福祉法人鶴風会 後援会
事務局 上村(うえむら)裕史・岩井秀彦・関矢幸子 宛

電話：042-561-2521 FAX：042-566-3753

社会福祉法人 鶴風会

チャリティバザーのお知らせ

日時 令和元年10月20日(日) 10:00～14:00
場所 東京小児療育病院院庭

- みどり祭りを同時開催 -

チャリティバザーでは、10月中旬までご寄贈品を受け付けております。ご協力お願いいたします。イベント・作品展・模擬店など企画しております。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

お問合せ

社会福祉法人鶴風会 後援会
事務局 石田隆裕・大久保敦司 宛

電話：042-561-2521 FAX：042-566-3753

健康科学部の看護教育への ご協力に感謝

東邦大学健康科学部

特任教授 遠藤 英子
(元、健康科学部設置準備室長)

2017年度、東邦大学健康科学部の開学にあたり、青木理事長はじめ、皆さま方の多大なるご支援を頂きありがとうございます。2020年度には4学年が揃います。定員は60名と他大学と比較すると少数ですが、学生一人ひとりを丁寧に育てたいと思っております。

世の中は内閣府が提示する“Social 5.0”時代に向け、確実に変化し、昭和生まれの我々はとも現代の情報流通には着いていけない現状を感じております。

しかし、人間の本质はそう変わるものではないと思っております。私は1993年から東邦大学看護学部(当時、短期大学)に着任し、故、五島瑳智子先生のご指導を受け、育ちました。五島先生から、東京小児療育病院のことは折に触れ、伺っており、龍先生、森先生、本明先生、倉島先生のお名前は拝聴しておりました。そして、何度か東京小児病院、西多摩療育支援センターを訪問する機会がありました。

そのような機会を得ながら、いつも私の脳裏をめぐるのは、母校である愛知県立看護短期大学(現、愛知県立大学)の夏の愛知コローでの泊まりがけ研修でした。当時2年(1971年)の私の記憶には、入所している子どもたちの光景がいまでも鮮明に残っております。呼吸すること・食べること・排泄することの援助を受け、懸命に生きている児、私には衝撃的でした。

多感な時代の私は、「生かるとは」「人間の尊厳とは」「人間は何のために生きる…」など、様々な本を読みあさり、看護を学ぶ友と、また、他大学の学生と、語り明かした思い出がよみがえります。今思うと、そのような体験も自身の考え方の基盤になっていたのだと思います。

学部設置にあたり、看護学生の実習の場にどうかと、小児看護学の臼井雅美教授と東京小児療育病院を訪問しました。臼井先生・病院看護部には、ご快諾を頂き、短期間ではありますが、宿泊での実習を計画しました。「…、社会の一員として生活している障がい児を理解し、地域および福祉における連携と、障がい児看護の実践を学ぶ」を目標に、学生には広く社会を知ってもらい、医療・福祉分野の理解をする

ことにより、看護者としての役割を自覚してもらおう。今年後期から3年生がお世話になります。学生の衝撃はきつと、臼井先生はじめ、臨床指導者の皆様のサポートで人的成長へとつなげて頂けることかと思えます。

トイ・ステーション kankankyo6 ご支援をうけて

看護・生活支援部長 長田 幸枝

日頃より、ボランティアの皆様には多大なご支援をいただき感謝申し上げます。その中で、「トイ・ステーション kankankyo」からは、2017年よりトレーニング・トイ(布などのおもちゃ)の貸出しの支援をいただいております。実際におもちゃを作成しているのは、「TOY工房どんぐり」です。1983年に手仕事の好きな女性が裁縫道具を持ち寄り、見よう見まねで寄附された布などを使っておもちゃを作ったのが出発点とお聞きしました。「一人ひとりの伸びる力を布のやさしさで育てたい」これがTOY工房どんぐりの原点であり、30年に及ぶ障害児のための布おもちゃ作りが始まったそうです。作られたおもちゃは、特別支援学校や小学校の支援学級に寄贈され

ていたということです。

当院のおもちゃを作成するにいたっては、トイ・ステーション kankankyoとTOY工房どんぐり、そしてデザイナーの方が訪問してくださいました。利用者の方に声を掛け、職員から利用者の方の好きなもの、好きなことを聞き、必要な安全性の意見を真摯に受け止めてくださり、40点ほどのおもちゃを作成し提供していただきました。一人ひとりに合ったおもちゃは中々市販されていません。デザイナーと工房の方は、「シンプルで優しく温もりのある、そして安全なおもちゃで皆の笑顔を引き出した」と話されました。できあがったおもちゃは、手触りが良く優しさを感じます。そしてそのおもちゃは、日中活動室に常備し、いつでも・誰でも・使いたいときに・使いたい利用者が楽しめるようにしています。私たちも利用者の方が楽しめる日中活動に力を注いでいきたいと思えます。ありがとうございます。



コストコ寄贈品

看護・生活支援部
生活支援担当科長 渡辺 明彦

毎年、多大なるご寄贈をいただき感謝申し上げます。

今年もテレビやDVDプレーヤー、地球儀、塗り絵や文具等利用者の方々が喜びそうなものをたくさんいただきました。壁面装飾作りや余暇活動の中でさっそく使用させていただいております。

テレビやDVDは皆で見るためのものはあるのですが、コンパクトなサイズのテレビは、ベッドサイド等の限られた個人のスペースでも設置することができ、利用者の方もリラックスしながらDVDの視聴を楽しむことができます。

地球儀は国の名前を音声で知らせてくれるため遊びながら学ぶことができます。最近地図や地名に興味を持ち始めている利用者にとっては、学習をする際の教材として大いに使用してほしいと願っています。

工作材料などは入所の利用者だけではなく、勤務する職員の子どもを預ける院内保育室とも分け合いながら使用

させていただくことになりました。きつと、塗り絵をしながらお母さんのお迎えを待っているかもしれせんね。今年5月に新しく開設した日中活動室「わくわくルーム」にDVDや文具類を保管し、利用者の方々の日中活動の充実を図っていくための一つのツールとして活用させていただきます。ありがとうございました。



社会福祉法人 鶴風会へ 「ご寄附者」芳名

平成31年3月(令和1年7月
二九〇名(順不同・敬称略)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 青木 美澄 | 阿部美代子 | 阿部 正和 |
| 安斉 忠治 | 安部 浩一 | 安部 良治 |
| 荒木眞佐子 | 青山 幸生 | 青木 悦 |
| 青木りつ子 | 青木 継稔 | 浅川 恭行 |
| 足高 毅 | 足立 嘉子 | 朝山 浩行 |
| 朝川 孝幸 | 有村 章 | 石井 匡 |
| 石田 勇 | 今井由紀子 | 伊藤 元博 |
| 伊藤 文子 | 井村 和博 | 磯貝 庄 |
| 一林 繁 | 稲垣 登稔 | 稲松 信雄 |
| 石原 学 | 石川 元子 | 石川稚佳子 |
| 石塚 博子 | 石田 哲朗 | 石北 壽子 |
| 飯国 弥生 | 飯国紀一郎 | 飯国洋一郎 |
| 飯塚 卓 | 内 孝允 | 瓜田 純久 |
| 内 孝文 | 梅田 嘉明 | 梅田 正法 |

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 梅田みほ子 | 宇野 拓 | 宇野久仁子 |
| 江川 惠基 | 小澤 翠 | 小原 浩 |
| 小原 明 | 小原 桂子 | 奥住 一雄 |
| 沖野 佳子 | 小栗 典明 | 小川美佐江 |
| 小田桐多喜 | 大江 容子 | 大高 究 |
| 大川原直子 | 大塚 慶子 | 大島 剛 |
| 大木 晋輔 | 金森 勝士 | 上岡 謙夫 |
| 加藤 葉子 | 加藤香代子 | 加藤 聡彦 |
| 河村 康明 | 河村 裕子 | 梶山 祥子 |
| 春日井正典 | 鬼頭 秀明 | 菊地 由美 |
| 菊池 信彦 | 金親 正敏 | 木村 鈴代 |
| 久保 初美 | 久保 博 | 桑原 利章 |
| 黒瀬 嘉幸 | 黒木 貴夫 | 倉根 理一 |
| 小泉 美子 | 小泉 一介 | 河野 喜一 |
| 駒松 仁子 | 幸田 文一 | 小柴 弘巳 |
| 小柴 裕子 | 小西フミ子 | 小池眞規子 |
| 小峰八ツヨ | 小林純二郎 | 後藤加寿美 |
| 斉藤 雅彦 | 斉藤 眞一 | 酒井 謙 |
| 境 敏秀 | 坂本眞理子 | 佐藤 明子 |
| 佐藤 重雄 | 佐藤 宣 | 佐藤 俊郎 |
| 佐藤 泰弘 | 佐藤 裕美 | 佐藤 麗子 |
| 佐藤 和子 | 佐々木徹郎 | 佐々木裕美 |
| 佐渡 昌子 | 坂本 勉 | 西條 公勝 |
| 先山 隆司 | 竹川 恵 | 清水 友理 |
| 塩野 則次 | 志鳥眞理子 | 鹿島田忠史 |
| 柴 孝也 | 渋谷 昌良 | 新谷 義克 |
| 正田 嘉子 | 正田 穂積 | 清水 一輝 |
| 島田 敏雄 | 島野 光 | 嶋田 寛子 |
| 須藤 緑 | 杉本 寛子 | 杉本 元信 |
| 炭山 嘉伸 | 炭山 明子 | 鈴木カツ子 |
| 鈴木 秀明 | 鈴木 茂 | 鈴木莊太郎 |
| 芹澤 滋幹 | 漆畑 修 | 袖山 昌子 |
| 高橋 孝彦 | 田村 恵子 | 高月 昌子 |
| 高木 利明 | 谷野 徹 | 田部 秀山 |
| 高後 裕 | 高槻 義夫 | 高野 恭子 |
| 塚原 洋子 | 月花 亮 | 月本 一郎 |
| 月本 伸子 | 塚原 洋子 | 辻本公美子 |
| 堤 俊一郎 | 土屋 英子 | 東條 賢一 |

- | | | |
|--------------|---------|-------|
| 初久保哲男 | 中園 宏紀 | 中園奈津子 |
| 中岡 義明 | 中谷 尚登 | 中澤 一治 |
| 長岡 貞雄 | 苗村 みえ | 並木 温 |
| 西井 華子 | 西宮 常代 | 西原 憲二 |
| 二宮 文乃 | 野口 隆敏 | 野村 正征 |
| 野村 直子 | 野中 杏栄 | 野中 博子 |
| 野田 文子 | 野中 佳子 | 花輪 茂樹 |
| 橋口 玲子 | 原山 国秀 | 原田 孝 |
| 原田千鶴子 | 原田 則雄 | 原田裕美子 |
| 早原 千鶴 | 早川 浩市 | 長谷川和寿 |
| 萩原 泰 | 林 京子 | 濱中知恵子 |
| 蛭田 啓之 | 平山玖美子 | 平田 徹 |
| 平野 盛久 | 平野 徹 | 藤田よし江 |
| 藤牧 賢治 | 布施 正博 | 福永 隆子 |
| 福田 健 | 細澤 裕子 | 星 北斗 |
| 星野 光雄 | 丸山希美子 | 丸山 和子 |
| 松原 龍弘 | 松山 潤一 | 宮代 英吉 |
| 宮崎 元伸 | 三上 政雄 | 三村 眞 |
| 三宅 三 | 三木 一正 | 三登 和代 |
| 水吉 秀男 | 水野久美子 | 水野 惇子 |
| 向山 秀樹 | 向山 徳子 | 村岡 宏子 |
| 村上 進 | 村川世津子 | 村川 公一 |
| 村國 均 | 武者 芳朗 | 守田 洋 |
| 森 紘子 | 森 克彦 | 森澤 豊 |
| 望月 陽子 | 安土 達夫 | 矢野 仁子 |
| 山口 美穂 | 山崎 公子 | 山村 憲 |
| 山田わか子 | 山田 智政 | 山本みどり |
| 山本 温子 | 山本 高裕 | 矢野 春雄 |
| 柳川 忠二 | 湯浅 貴文 | 湯澤 俊 |
| 吉永 克己 | 吉見 梓 | 吉田 宏重 |
| 吉田 勝彦 | 吉田 友英 | 吉澤 熙 |
| 若江恵利子 | 綿谷 陽子 | 鷺澤 祐子 |
| 鷺澤 尚宏 | 榎工ケル | サービス |
| 額田医学生物学研究所 | 中村建設(株) | |
| 星総合病院 | | |
| 社会福祉法人 | ひなた和楽会 | |
| 特定非営利活動法人 | わらべ | |
| 東京小児療育病院父母の会 | | |